

佳作

ぼくのどうもねえい

福島県 会津坂下町立坂下東小学校一年 谷中 亮介

じいじ、ばあば、げんきにしていますか。ぼくは、げんきだよ。ばれえぼうるのれんしゅうをがんばっているよ。さあぶ、れしいぶ、すばいく、いっばいおうちでもれんしゅうしているんだ。

すぼしょうのばれえぼうるをならいはじめたところ。れんしゅうにいくだけで、どきどきしたんだよ。うまくできるか、しんぱいだったんだ。だけど、せんぱいやこうちが、

「ないす。」

「うまいね。」

「すごい。」

って、たくさんこえをかけてくれたよ。ほめられるとうれしくて、もっともつとがんばろうっておもうんだ。

れんしゅうをはじめて二かげつめ。はじめて、ば

れえぼうるのたいかいにでたよ。さいしよは、べんちからのおうえん。おおきなこえで、

「ないすさあぶ。」

「どんまーい。」

って、みんなにきこえるように、おうえんしたよ。

しあいのとちゅうで、かんとくが、

「つぎ、でるぞ。」

って、ぼくにいったんだ。「ぼくのでばんだ。よっしゃあ。がんばるぞ」って、わくわくして、うれしかったよ。それなのに、こうとにはいるってなったら、きゅうにしんぱいになったよ。あいてちいむのさあぶをみて、「すごい。はやい。とれるかな」って、どきどきしたんだ。

いよいよ、せんしゅこうたい。ぼくのさあぶのじゅんぱんがきた。

「いくぞー。」

きんちょうにまけないぞとおもって、おおきなこえをだしたよ。ぼうるをつよくうったよ。ぼうるは、たかくあがって、ねつとをこえたんだ。あいてのこうとにおちたよ。

「すごい。さあびすええす。」

みんなが、はいたちしてよろこんでくれたよ。

ぼくは、「さあぶがはいった。やったあ」と、ころのなかでさけんだんだ。ちいむのみんながにこにこしていて、とてもうれしかったよ。

にゅうぶしたころは、うまくさあぶができなかったんだ。とつても、くやしかった。なんかいやつても、ぼうるがねつとをこえなくて、かなしくなつたよ。でも、あきらめるのはいやだ。できるまで、いっばいれんしゅうしたよ。いえでも、やわらかいぼうるで、なんかいもれんしゅうしたよ。これからも、じょうずなさあぶをよくみて、れんしゅうしたいな。

じいじ、ばあば、いつも、おいしいやさいやおこめ、ありがとう。もりもりたべるよ。げんきいっばい、ばれえぼうるのれんしゅうをするね。いまは、きれいにせったあにかえせるように、さあぶかっとなができるようになりたい。なかまとちからをあわせるね。あきらめないきもちで、これからもがんばるね。